

## 2022年度予算書の概要

学校法人 神戸薬科大学

2022年度予算書は、2021年12月16日に開催した評議員会及び理事会において承認された予算大綱を基に、その内容の見直しを行うとともに、予算大綱作成時以降に採り上げた新規予算項目を織込み作成した。主な予算書である資金収支予算書及び事業活動収支予算書の概要については以下のとおり。

### 1. 資金収支予算書

#### (1) 資金収入

キャンパス整備計画に係る新2・3号館（仮称）及び防災管理センター（仮称）の新築工事に対応すべく第2号基本金引当資産（教育環境整備資金）及び減価償却引当特定資産を取崩し、その他の収入に計上するため、単年度の収入の合計は前年度比1,291,400千円増の5,945,500千円を見込む。

#### 【科目別内容】

##### ① 学生生徒等納付金収入

学部学生数を前期比25名増の1,700名（新生を270名、2年次～6年次生を1,430名）と想定し学部納付金を3,012,000千円と見込み、入学金149,200千円、大学院納付金13,300千円及びその他と合わせて前年度比43,800千円増の3,178,000千円を計上した。

##### ② 手数料収入

入学志願者数を前年度と同数の2,300名と想定し学部入学検定料を74,500千円と見込み、その他の手数料と合わせて前年度同額の89,200千円を計上した。

##### ③ 寄付金収入

研究奨学寄付14,000千円、奨学金寄付3,000千円、同窓会2,000千円、桔梗育友会1,000千円で前年度比5,000千円増の20,000千円を計上した。

##### ④ 補助金収入

経常費国庫補助金250,000千円、高等教育修学支援にかかる授業料等減免交付金50,000千円他で前年度比8,000千円増の300,800千円を計上した。

##### ⑤ 付随事業・収益事業収入

補助活動収入は如修塾の寮生数を前年度と同数と想定し22,500千円を見込み、受託事業収入は科学技術振興機構の「戦略的創造研究推進事業」採択等により前年度比10,000千円増の15,000千円を見込み、合わせて前年度比10,000千円増の37,500千円を計上した。

##### ⑥ 受取利息・配当金収入

運用資金の期中平残予想137億円を、利回り平均約0.26%で運用するとして、前年度比4,100千円減の35,500千円を計上した。

##### ⑦ 雑収入

退職金財団からの退職資金交付金62,900千円、科研費間接経費18,000千円他で前年度比43,700千円増の92,900千円を計上した。

##### ⑧ その他の収入

第2号基本金引当特定資産（教育環境整備資金）1,000,000千円、減価償却引当特定資産1,200,000千円の取崩し他で前年度比1,222,700千円増の2,246,300千円を計上した。

#### (2) 資金支出

キャンパス整備計画に係る2号館、3号館、9号館解体工事費用の教育研究経費・管理経費支出への計上や、新2・3号館（仮称）及び防災管理センター（仮称）新築工事に伴う施設関係支出への計上により、単年度の支出の合計は前年度比969,000千円増の6,189,400千円を見込む。

#### 【科目別内容】

##### ① 人件費支出

教員84名（前年度85名）、職員47名（前年度45名）、教育研究支援職員16名及び非常勤教員とアルバイト職員他の給与に加え、定年退職者3名の退職金等を合わせ前年度比65,300千円増の1,739,600千円を計上した。

## ②教育研究経費支出

長期実務実習・共用試験関係費 215,900 千円、電子ジャーナル・データベース使用料 86,500 千円、応急援助奨学金 54,000 千円、修学支援奨学金 50,000 千円、学部・大学院奨学金 39,600 千円、特待生入試制度奨学金 9,000 千円、COVID-19 対策費用 9,000 千円などの経常経費に加え、2号館、3号館解体費用 128,000 千円、2号館、3号館土壌汚染対策費用 86,000 千円などの予算措置により前年度比 99,400 千円減の 1,472,800 千円を計上した。

## ③管理経費支出

経常経費に加え、9号館解体費用 18,500 千円、90周年広報関連費用 9,000 千円の予算措置により前年度比 13,500 千円減の 296,800 千円を計上した。

## ④施設関係支出

新2・3号館（仮称）及び防災管理センター（仮称）新築工事 2,246,500 千円他で 2,253,200 千円を計上した。

## ⑤設備関係支出

4号館プロジェクター更新 15,400 千円、5号館設備整備・修繕 7,500 千円、中央監視装置保守部品交換 6,000 千円、11号館パブリックルームパソコン更新 5,000 千円、証明書発行機更新 2,700 千円他で 80,800 千円を計上した。

## ⑥資産運用支出

第2号基本金引当特定資産（教育環境整備資金）300,000 千円、研究充実準備積立金 25,000 千円の各積立により 325,000 千円を計上した。

## (3)繰越支払資金

単年度の収入 5,945,500 千円から単年度の支出の合計 6,189,400 千円を差し引いた収支は 243,900 千円の支出超過となることから、翌年度繰越支払資金は期首から 243,900 千円減の 618,400 千円となるが、前受金収入 397,500 千円は維持できる見込み。

## 2. 事業活動収支予算書

### (1)教育活動収支差額

収入については、手数料が前年度横這いを見込むが、学生生徒等納付金、寄付金、経常費等補助金、付随事業・収益事業収入、雑収入はいずれも前年度比増額を見込み、全体で前年度比 110,500 千円の増額を見込む。一方、支出については、人件費が前年度比増額を見込むが、教育研究経費、管理経費が前年度比減額を見込み、全体で前年度比 48,000 千円の減額を見込み、収支差額は 350,800 千円の支出超過（前年度比 158,500 千円増）を見込む。

### (2)教育活動外収支差額・特別収支差額

教育活動外収支差額は受取利息・配当金の収入のみの計上であり、35,500 千円の収入超過（前年度比 4,100 千円減）を見込む。この結果、教育活動収支差額と教育活動外収支差額の合計である経常収支差額は 315,300 千円の支出超過（前年度比 154,400 千円増）を見込む。特別収支差額は2号館、3号館、9号館解体に伴う資産処分差額の計上により、212,100 千円の支出超過（前年度費 45,600 千円増）を見込む。

### (3)基本金組入額、取崩額

施設関係支出 2,251,100 千円、設備関係支出 79,500 千円、資産運用支出のうち第2号基本金引当特定資産 300,000 千円で計 2,630,600 千円の組入れを行う一方、2号館、3号館、9号館他の解体や機器・備品の耐用年数経過に伴う除却に伴い 1,736,200 千円、及び第2号基本金引当特定資産 1,000,000 千円の取崩しを行うため、差し引き 105,600 千円の基本金取崩額を見込む。

### (4)繰越収支差額

経常収支差額に特別収支差額及び予備費 20,000 千円を加えた基本金組入前当年度収支差額は 547,400 千円の支出超過（前年度比 200,000 千円増）を見込む。基本金組入額の計上はなく、当年度収支差額は 547,400 千円の支出超過（前年度比 500,000 千円増）となり、さらに前年度繰越収支差額 52,900 千円の支出超過、基本金取崩額 105,600 千円を加えた最終的な翌年度繰越収支差額は 494,700 千円の支出超過（前年度比 129,700 千円増）を見込む。